二〇二一年度　筑波大学附属駒場中学校（国語）　解答

解答

一

問1　赤ちゃんが泣いている原因に合った対応ができるということ。

問2　待つ忍耐を覚え、ひとりで考えたり遊んだりすることに楽しみを感じること。

問3　日本の「躾ける」は強制的にやらせる意味合いが強いが、フランスの「教える」は、自ら考え自ら行動できるようにするという意味合いがある。

問4　列車が遅れた理由を説明したり、謝ったりしても何の解決にもならないことを、ひとりひとりがわかっているから。

問5　A　失敗　B　成果　C　確保　D　雑音　E　余談

二

問1　「ぼく」の仕事を知らない友だちに説明するのならわかるが、当人である「ぼく」に向かって言う意図がわからなかったから。

問2　安全運転を妨げるだけでも罪なのに、運転手は話しかけられても答えてはいけない服務規定があるので、小言を言うこともできず、ひたすら我慢して運転するしかないという点。

問3　子供たちに悪意がないのはわかっているので、仕事の邪魔になっても我慢しようと、苛立ちを感じながらも仕事に集中しようとしているが、筆を動かしているようでいて、実際には筆がおろそかになっている様子。

問4　子供たちが悪気なくいたずらをするのは理解しているのだから、自分が仕事の邪魔をする子供に文句を言うのも悪意からではないので許してほしいという気持ち。

三

問1　自分の気持ちが、動作として表れること。

問2　歩きながら考えているつもりだったが、ふと気がつくと考えることに意識が集中し、どこを歩いていたのかも忘れていたということ。

問3　なにげない動作ではあったが、ふたたび会うこともないような人との間にもささやかな心の通い合う感覚を残すようなものだった。